

## 2023年度事業報告書

### 1. 2023年度の経済状況及び関連産業の動向

#### (1) 2023年度経済

2023年度の我が国経済は、コロナ禍の3年を乗り越え改善しつつある。30年ぶりの高水準となる賃上げや企業の高い投資意欲など、前向きな動きがみられ、デフレから脱却し新たなステージに移行する千載一隅の機会を迎えている。

他方、賃上げは輸入価格の上昇等による物価上昇に追いついておらず、個人消費や設備投資は依然として力強さを欠いている。このため、国民の可処分所得の下支え等を内容とする総合経済対策を2023年11月に取りまとめられ、デフレ脱却に向けた取組みを強化している。

この結果、2023年度のGDP成長率は実質で1.6%程度、名目で5.5%程度、消費者物価は3.0%程度の上昇率と見込まれている。

#### (2) LPガス産業界及び溶接容器産業の状況

2022年2月に発生したロシアによるウクライナ侵攻は依然として継続しており、エネルギー価格を中心に価格高騰が継続している。さらに円安による影響もあり、原材料である鋼材価格は高騰している。このため溶接容器産業は厳しい状況が続いている。

### 2. 2023年の実施事業

#### (1) LPG容器及びバルク貯槽の生産統計の作成・公表

会員企業各社からの報告を踏まえて、2023年1月～12月の生産状況を作成し公表した。2023年の生産状況は、以下の通り。

##### ① LPG容器の生産

容器総生産は、LPG容器で1,297千本（前年比76.1%）となり、2010年の1,317千本を下回り統計を公表している1998年以降で最低となった。また、自動車用容器、その他ガス用容器を含めた総生産実績は、1,362千本（前年比77.1%）となった。

・10kg以下LPガス用容器	66千本（94.2%）
・10KG超20kg以下	517千本（76.6%）
・20KG超50kg以下	714千本（74.4%）
・50KG超500kg以下	47本（43.1%）

- ・自動車用容器 14千本（138.4%）
- ・その他ガス用容器 51千本（96.3%）

## ② バルク貯槽の生産

バルク貯槽生産実績は、13,654基（前年同期比93.0%）となった。内訳は以下のとおり。

- ・100kg以下 0基（—%）
- ・100KG超150kg以下 501基（65.0%）
- ・150KG超200kg以下 105基（116.7%）
- ・200KG超300kg以下 3,363基（83.2%）
- ・300KG超500kg以下 3,757基（84.5%）
- ・500KG超1トン未満 5,309基（110.2%）
- ・1トン以上3トン未満 619基（118.6%）

## （2）溶接容器の技術向上

- ① 技術委員会を中心に溶接容器及びバルク貯槽の品質保持・向上に関する検討を行った。
- ② ISO/TC58国内委員会に委員を派遣し、ISO基準の見直し・策定などに協力した。
- ③ 移動容器規格委員会に委員を派遣し、検査基準の見直し等に協力した。
- ④ 経済産業省の委託を受けて高圧ガス保安協会が取りまとめた容器保安規則例示基準の改正要望の内容及び今後の対応について経済産業省との意見交換を行った。

## （3）保安の確保と安定供給対策

- ① 生産物賠償責任保険の更新  
容器を起因とした万一の事故による賠償責任に備え、令和4保険年度（令和5年10月1日～令和6年9月30日）の生産物賠償保険を継続付保した。
- ② 政府の保安対策等への協力  
経済産業省産業構造審議会傘下の高圧ガス小委員会にオブザーバーとして参加し、高圧ガス保安施策の策定・推進に協力した。
- ③ LPガス安全委員会への参画  
LPガス安全委員会に会員として参画し、消費者保安体制の強化及び事故防止体制の推進に協力した。
- ④ LPガス容器くず化処理状況

LPガス容器くず化処理マニフェストの発給依頼のあった認定事業所に対し同マニフェストを提供し、確実にくず化処理に貢献した。

認定事業所における2023年の容器くず化処理本数は658千本（前年比88.8%）となった。

⑤ バルク貯槽くず化処理状況

2023年のバルク貯槽くず化処理件数は、8,632基（前年比98.9%）となった。

(4) その他の事業

① 関係官庁、関係機関等からの情報提供

経済産業省等の行政機関及び高圧ガス保安協会をはじめとする関係機関・団体からの依頼・情報提供を受け、会員への周知、各種資料の配布を行う等必要な情報提供に務めた。

② 関係団体等との連絡、情報の交換

LPガス関係団体事務局連絡会、鉄鋼製品団体協会会合に参加し、関係業界相互間の情報交換を行った。

(5) その他

① 物流2024年問題

物流の2024年問題に関する政府の政策の動向について、必要に応じて理事会等に情報提供するとともに、適切な容器配送を継続するため一般社団法人全国LPガス協会との意見交換を実施した。

② 特定技能制度

政府が検討している外国人材活用に関する技能実習制度及び特定技能制度に関する制度改正の議論の状況について理事会等に報告し共有した。また、会員企業が外国人材活用を図るため、経済産業省に要望を行った。

また、特定技能制度の対象となった際に必要な工業会としての取り組みの案を作成し、理事会等で検討を行った。

(6) 会議の開催状況

① 通常総会

2023年5月15日（月）に第47回通常総会を開催し、2022年度事業報告書案及び収支決算書案等を審議し、議決した。

② 理事会

2023年度は10回の理事会を開催し、総会への附議が必要な事業報

告書案、収支決算書案、事業計画書案、収支予算書案、について審議し、議決した。また、各委員会の開催報告に基づく検討を踏まえ、必要に応じ業務執行を決定した。

③ 監査

2023年4月19日（水）に2022年度の収支決算について監査を実施し、監査証明書の提出があった。

(7) 委員会活動

① 運営委員会

2024年3月11日（月）に開催し、2024年度の事業計画書案及び収支予算書案について検討を行い、案を作成した。

② 技術委員会

2023年度は6回の技術委員会を開催し、溶接容器・バルク貯槽の品質保持を中心とした検討を行ったほか、外部委員会出席委員からの報告を基にした意見交換等を行った。

また、地方開催としてバルク貯槽の空気置換方法について、札幌市のエルピー産業を訪問した。

③ 容器処理委員会

2023年度の容器処理委員会は、5月に第97回容器処理委員会を開催し、容器処理の状況、容器処理に関する政策の動向等について意見交換を行った。また、11月に福島県浪江町にある、NEDO 事業で実施している水素製造設備及び水素充填設備を訪問した。

(8) 庶務的事項

① 役員の異動

2023年5月の定時総会で理事・監事全員を再任した。

② 委員長の異動 なし

③ 会員の状況

正会員 6社

賛助会員 29社

バルク関係 1社

バルブ関係 3社

容器処理関係 25社

④ 表彰関係 なし

以上